

# 持続的成長に向けて、前進、進歩、飛躍へ



代表取締役 社長執行役員  
山岸 孝行

当社は、ロードマップに沿った積極的な取り組みにより、営業利益が2年連続で30%以上の増加となるなど、「成長のステージ」に向けて進んでまいります。

## 2007年3月期の連結業績

2007年3月期は、景気が世界的に順調に拡大し、PC、HDD、携帯電話、航空機、自動車などの市場で需要が伸びました。

このような環境下、売上高は3,310億円と、9年振りに過去最高を更新し、ボールベアリング、ロッドエンドベアリング、エレクトロデバイス製品など、高い市場シェアをもつ製品や市場のニーズをうまく捉えた製品を中心に増収となりました。

営業利益は263億円と、前年比36%の増益となりました。主要生産拠点であるタイのパーツ高が進行するというマイナス要因はあったものの、ボールベアリング、ロッドエンドベアリングなど主力事業の拡大、情報モーターやキーボードの黒字化などにより増益となり、営業利益率も2.0ポイント向上し8.0%となりました。

当期純利益も129億円と、前年比3倍増となりました。

## 持続的成長に向けて

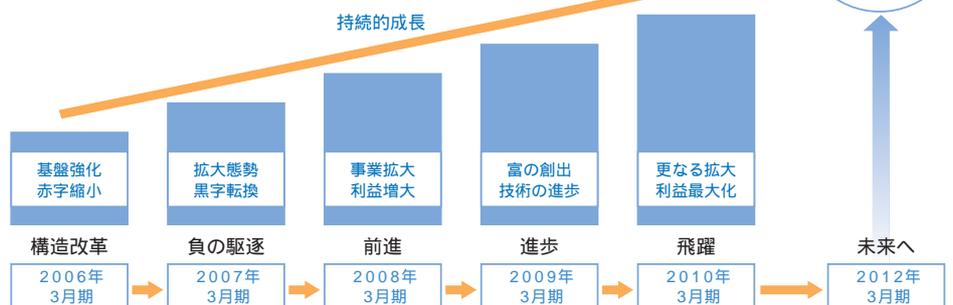
下図は、当社の持続的成長軌道の指標として策定された中期事業計画を示しております。

売上高は、2009年3月期で3,500億円、2010年3月期で3,700億円を目指してまいります。営業利益率は、2010年3月期で10%以上の2桁数値を果たすべく取り組んでまいります。この中期3カ年計画では、初年度の2008年3月期を「前進」、2年目を「進歩」、3年目を「飛躍」と称し、5年

## 将来に向けて

中期事業計画 単位：億円

	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期
売上高	3,350	3,500	3,700
営業利益	300	340	380
税引き前利益	235	260	300



後の2012年3月期には売上高5,000億円企業への成長を目指してまいりたいと考えております。

### 持続的成長を果たすためのイノベーション

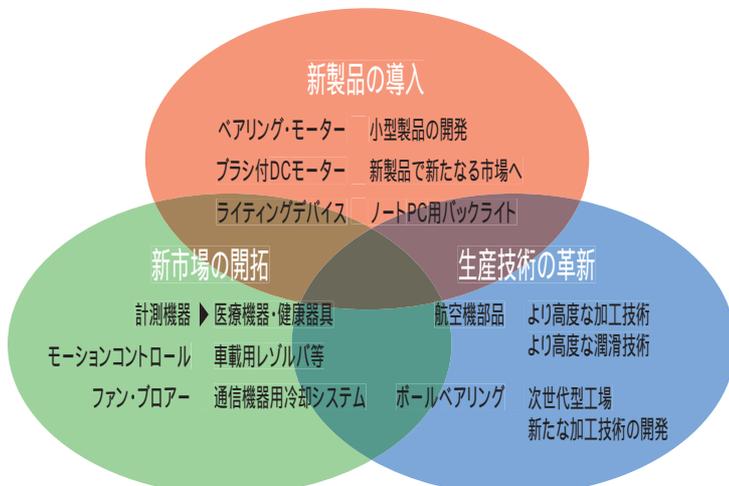
当社は、「ものづくりで勝てる会社、技術で勝てる会社」を標榜しております。

持続的成長を果たすための当社のイノベーションは、下図に示してありますように、「新製品の導入」「新市場の開拓」「生産技術の革新」にあります。これらはそれぞれが独立したのではなく、常に相互関連をもって進められなければなりません。

ボールベアリングでは、市場の成長力、供給力、コスト競争力、生産技術の革新が鍵になると考えております。成長力の高いミニチュア・ボールベアリングの生産能力強化と、極小ベアリングの開発などを通じ、新たな需要の創出と拡大をはかってまいります。供給力とコスト競争力については、2008年3月期中に月産2億個体制を確立し、市場での優位性を維持してまいります。将来に備え、最も重要なことは、生産技術の革新です。このため、次世代でのベアリング生産形態のモデルとなる新工場の建設を計画しております。同時に、よりミニチュア化し、さらに精度アップが要求されていくベアリング市場の中で、ミニチュアサイズ専用の加工機の開発も手がけてまいります。

航空機用部品につきましては、航空機産業の中長期予測として航空旅客需要で年率5%、航空貨物需要で年率6%程度の成長が見込まれております。この成長産業において、既存のロッドエンド&スフェリカルベアリングに加え、さらなる事業の拡大に向けて、高度な加工技術を駆使した航空機向けメカパーツ分野への展開を進めてまいります。

### 持続的成長に向けたイノベーション



モーター事業で拡大の核となるのは、ファンモーターです。今後10年間の拡大を視野に入れた上海工場のレイアウト変更もほぼ終了し、今期は増産体制に入っております。また、新製品として、世界最小の3mm径PMステッピングモーターや、小型高トルクのブラシ付DCモーターを発表しました。今後も開発体制を一層強化し、新製品開発を強力に進めて、市場に投入してまいります。

ライティングデバイスでは、従来の携帯電話向け小型製品に加えて、前期末からスタートしたカーナビゲーション用のビジネスを軌道に乗せるとともに、15型ノートPC向けLEDバックライトの事業も立ち上げる計画です。

新市場の開拓についても、新しい動きが始まっております。計測機器事業では、自動車産業への参入を果たすとともに、健康器具・医療機器市場への参入を目指しております。また、従来航空機用部品として生産していた高信頼性の角度センサーであるレゾルバを、自動車の電子化に伴い自動車部品市場でも展開していく計画です。

2008年3月期は、持続的成長を果たすためのイノベーションに集中的に取り組み、将来に向けて前進をはかる年にしたいと考えております。

企業価値の向上に向けた取り組みは、成長のステージに移りました。「前進」「進歩」「飛躍」そして未来へと力強い持続的な成長を実現することは容易なことではありませんが、全社一丸となって目指してまいり所存です。

株主の皆様には、ミネベアグループに対して引き続きご理解とご支援をお願い申し上げます。

2007年7月1日

# 山岸 孝行

代表取締役 社長執行役員  
山岸 孝行